



「市民が進める温暖化防止～クライメート・アクション・ナウ!～」キャンペーン

パリへ、COP21へ届けパレードの声

写真1 会場風景



写真2 タレシさんからのメッセージ



写真3 メッセージカードでアピール



写真4 パレード出発



世界の将来を左右するCOP21会議がパリで開催されるに合わせて、Climate Action Now!キャンペーン実行委員会主催の、「CO₂削減」を訴えるアースパレード2015が、東京(11月28日)に引き続いて29日(日)に京都市で開催された。会場は円山公園の南にある音楽堂で、CASAと自然エネルギー市民の会(PARE)会員が合わせて約20人参加した(写真1)。

12時頃にCASA・PAREのスタッフが現地入りをして、まずCASAとPAREのバナーを立て、会員の集合場所を示した。参加各団体のノボリも次第に増えていき、音楽堂の舞台では京都女子大の皆さんのダンスや、ミュージシャンの演奏などが披露された。その間にも参加者が続々と集まり、集会の空気は熱くなっていった。最終的には主催者発表で500人の集会になった。

遠路はるばる南の国ツバルから来日されたゲストのタレシさん(写真2の中央左の方)のスピーチをはじめ、環境保護団体やNGOの代表のメッセージが続き、「原発を推進することは再エネの拡大を妨げて地球温暖化を加速させることです。」というコメントにはたくさんの拍手が送られた。

そして会場の参加者全員がそれぞれに自分のアピールを書いたカードを舞台にむかってかざし写真撮影が行われた(写真3)。

タレシさんとシロクマの着ぐるみシロベエ君を先頭にパレードは600人規模で出発(写真4)。円山公園から四条通りへ出て河原町通りを北上して京都市役所までの約2キロの道(写真5)。「原発反対・再エネ増やそう・地球を守ろう」などアピールを繰り返し、両側の歩道いっぱいの観光客が見守る通りを元気よく行進した。

古畑 等(CASAボランティア)

写真5 600人がパレード

